

松前ひろ子さんが鈴鳴荘を訪問

8月7日(土)、くにさき観光親善大使で歌手の松前ひろ子さんと、三山ひろしさんが安岐町の鈴鳴荘を慰問して歌のプレゼントをしました。

今回の訪問は、昨年の松前さんと三山さんのコンサートに鈴鳴荘の皆さんが応援に駆けつけ、大分空港まで見送りに来てくれたことに感激した松前さんが約束したことで実現しました。

松前さんらは、国見町で開催された大権現祭の歌謡ショー出演の前に鈴鳴荘を訪れ、利用者の皆さんと記念撮影の後、それぞれの歌を披露しました。利用者の皆さんは、一緒に歌ったり、手拍子をしてとても喜んでいました。



70年目の感動！ 珍しいリュウゼツランが開花

数十年に一度しか咲かないといわれるリュウゼツランが、国東町来浦の猪俣亀鶴さん宅の庭で黄色の花を咲かせました。このリュウゼツランは、約70年前に祖父が植えたもので、5月中旬から伸び始め、現在は約7メートルまで成長し、30本ほどの小枝に黄色の花が咲いています。

猪俣さんは「一生に一度見られるかどうかの花をじっくり見られて幸せです」と話していました。



国東ライオンズクラブ 青少年交換生が表敬訪問

8月6日(金)、ライオンズクラブの青少年交換生として、フィンランドから国東市を訪れていたラリッサ・コーペラさん(18歳)が、国東ライオンズクラブの皆さんと市役所を訪れました。

ラリッサさんは、7月30日から8月11日まで市内でホームステイしながら、クラブの皆さんとの交流や観光を行いました。



(左から) 海原明子幹事、ラリッサさん、野田市長、山下昇会長▲

広瀬知事、県政ふれあいトークで 国東市を訪問

8月17日(火)、広瀬勝貞大分県知事が、「県政ふれあいトーク」のため安岐町の鈴鳴荘を訪れました。

「子育て支援と安岐の郷」と題した懇談会では、広瀬知事と鈴鳴荘の職員が男性の育児休暇や施設内保育所の実施など、仕事と子育ての両立支援について意見交換を行いました。



流しソーメンで区の活性化

8月22日(日)、下原9区ソフトボールクラブ主催の流しソーメンが、同地区の公民館で行われました。区の活性化と区民の懇親を図ろうと、区民の皆さん約50人が参加し、用意された100食分のソーメンは、1時間で完食となりました。



大恩寺 子ども相撲大会

8月14日(土)、国東町大恩寺の王子神社でお盆の恒例行事となっている「秦文蔵翁銘石祭・子ども相撲大会」が行われました。江戸時代から明治時代にかけて、この地区の水路などを整備した秦文蔵翁の功績をたたえて、大正初めから「銘石祭」が行われるようになり、今日まで続けられています。この日の大会は、お盆で帰省中の子どもも参加して行われ、会場では豆力士に大きな声援が送られていました。

